

# 紫峰会報

第 78 号

2001年 12月 5日発行

E-mail admin@shihoukai.gr.jp

URL http://www.shihoukai.gr.jp/

編集・発行 紫峰会[筑波大学学生後援会] 〒305-0005 茨城県つくば市天久保3-10-7学園都市ビル3F Tel0298-52-8572



左上 合唱団むくどりのライブ  
上 松美池ステージでのパフォーマンス  
左 最先端施設を見られる研究所見学ツアー  
中 夜に行われた特設ステージ  
(Real Jamによるダンス)

## 第 27 回筑波大学学園祭 雙峰祭開催

「非日常への冒険」をテーマに掲げ、2001 年度筑波大学学園祭雙峰祭が 321 企画を集めて 10 月 6 ~ 8 日に開催された。企画は主に模擬店、ステージ企画、学術企画に分類される。3 日目には雨天のため多くの模擬店が実行

を見送りやや寂しい光景となったが、夜には天気も回復し、さながら夏祭りの夜店のような賑わいを見せた。ステージ企画は時間・場所指定の固定ステージの他にも、突如大道芸を行うといった移動企画がその神出鬼没ぶり以来客を驚かせていた。芸術専門学群による芸専 BAR や後夜祭のディスコなどの恒例企画が今年もその健在ぶりを

示す一方で、新たに本部企画として実施された研究所ツアーには、募集人数 30 人を大きく上回る 42 人が申込に詰めかけた。この成果は学術企画の縮小化が嘆かれる昨今の学園祭に新たな風を吹き入れることと思われる。

(実行委員長より寄稿 2 頁)

(取材 / 文サ連広報局長 由良紀子・人間 2 年)



初の京都進出を果たした管弦楽団定期演奏会(写真はつくば公演にて)

## 筑波大学管弦楽団 第 50 回記念定期演奏会開催

筑波大学管弦楽団の定期演奏会がこの秋で 50 回の節目を迎えた。第 50 回記念定期演奏会として、京都コンサートホール、東京文化会館、つくばセンタービルノバホールで、ヴァイオリンソロには管弦楽団 OB で東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターの三浦章広氏を迎えて行われた。各公演とも盛況のうちに幕を閉じた。

(団長より寄稿 2 頁)

## Campus News

### 第27回筑波大学学園祭雙峰祭開催(寄稿)



本会からの援助金目録を掲げる立野委員長  
(左 山本興四郎本会会長)

2001年、新しい世紀の幕開けの年に開催された学園祭は「非日常への冒険」をテーマに掲げていました。世紀の変わり目に当たる年の学園祭を通じて、普段では経験できないような貴重な体験、心から楽しめる時間・空間を堪能していただきたいという願いをこめて、このテーマが設定されました。

学園祭は、決してある一つの団体のみによる活動ではありません。学園祭全体を運営する私たち実行委員がいて、その実行委員を支えてくださる教職員の方や諸団体の皆様がいて、模擬店や学術発表等を行う企画団体の人がいて、当日会場に足を運んでくださった来場者の方々がいて、私たちの学園祭「雙峰祭」は成り立っています。特に紫峰会[筑波大学学生後援会]の皆様からは、学園祭へ多大なる援助金を頂いており、学園祭実行委員会一同誠に感謝しております。

今年の学園祭は、苦難の連続でした。山積みになっていた問題を一から考え、少しずつ改善しました。しかし、まだまだ解決しなければならない問題が残されています。来年の実行委員がそのような問題を解決に向けるよう、影ながら協力していきたいと思えます。今後とも学園祭実行委員会、及び学園祭にご支援をよろしくお願い致します。

最後になりましたが、今年の学園祭に参加してくださった方々、協力してくださった方々に、心から感謝の気持ちを表したいと思えます。ありがとうございました。(寄稿/第27回学園祭実行委員長 立野寛士・自然2年)

### 管弦楽団第50回記念定期演奏会「感謝感激雨霰」(寄稿)

「君たちが執行学年の時にうちの定期演奏会がちょうど50回なんだよ」という先輩の言葉を思い出しました。ただ楽器を吹くためだけに筑波大学管弦楽団に入団したばかりの僕に、そのことがどんなにすばらしく、また大変な行事か理解するのは難しく、ただ他人事のように感じていたことを思い出します。よもや自分がこの先団長という地位に就き、こんなに苦労するなんて。



客演の管弦楽団OB三浦章広氏

演奏会を終えた今になってようやく自分がやったことに対する「実感」らしきものが湧き、今までお世話になった皆さんに「ありがとうございます」と言いたくなりました。そして何より、音楽をやってよかったと思いました。指揮者の小田野宏之先生、ソリストで当団OBの三浦章広先生、トレーナの先生方、顧問の腰塚先生、OB・OGの方々、同輩・後輩、他にも数え上げればきりがありません。団長という地位を気負い、空回りしていた自分。どんなに多くの人たちに見守られ、助けられたのか。それがどんなにありがたく、この第50回記念定期演奏会に必要不可欠であったのか。感謝してもしきれないというのはこういうことなのでしょう。今までに筑波大学管弦楽団と自分がお世話になった方々へ「感謝感激雨霰」(寄稿/管弦楽団

第26期団長 藤谷大・工基礎3年) s  
第25回  
秋季スポーツ・デー開催(寄稿)

去る10月27日・28日の両日、第25回秋季スポーツ・デーが開催されました。今回はサッカー、キックベースといった通常種目に加えて、25周年企画と題した3on3大会と雪合戦大会を開催いたしました。

初日は絶好のスポーツ日和。爽やか

な晴天のもと、多くの参加者が会場に詰めかけました。開会式では全国大会でも活躍するダンス部がパフォーマンスを披露し、引き続き陸上競技場で行われたSPORTS FIELD 2001も過去最高の参加者を記録するなど、ここ数年の恵まれなかった分を一気に取り戻すかのような盛り上がりを見せました。

二日目はあいにくの天気となり、一部競技の中止等がありましたが、ほぼ全日程を終了することができました。特に午後から行われた駅伝は、たくさんの方が応援に陸上競技場等へつめかけ、激走するランナーへの惜しみない拍手と歓声が会場を包み込みました。

このように第25回秋季スポーツ・デーは25周年記念にふさわしい盛り況の中、幕を閉じることができました。近年著しいとされる若者のスポーツ離れの中、私たちはこのような大規模スポーツ・イベントを全学規模で開催できることのすばらしさを身にしみて感じるとともに、そんな行事を中心となって企画・運営できることに、今回改めて喜びを感じております。多大なるご支援をいただいた紫峰会の方々にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。私たちスポーツ・デー学生委員会は今回のこの大成功をもとに、スポーツ・デーのさらなる活性化を図っていきたくと考えております。今後とも変わりないご支援のほどをよろしく願いいたします。(寄稿/第25代スポーツ・デー学生委員会委員長 矢野友亮・人文3年)



初日はスポーツ日和でプレーも白熱  
初の伝統文化系サークル合同企画  
「天上大風」開催(寄稿)

今年初めて企画された、伝統文化系サークル合同企画「天上大風」は、9月24日(祝)に筑波大学開学記念館で開催され、おかげさまで200人近い方のご来場を頂き、一年目としては上々の成果を残すことができました。これもひとえに紫峰会を初めとする多くの方々のご協力と、各部員達の努力の賜



邦楽部のステージ

物だと思えます。この場をお借りして皆さんにお礼を申し上げます。

今振り返ってみると、反省すべき点多々出ましたが、それ以上に大変大きなものを得たと思えます。たとえばサークル全体が活性化したこと、サークル同士のつながりが強くなったことです。これらの成果は企画立案当初、目標に掲げていたもので、今回の企画ではそれが見事に達成できたと感じています。また準備をしている段階では、こんな大変な事を来年にも引き継ぎできるかと心配していましたが、次の代表となる2年生達は、次に自分たちがサークルの運営をするのだという自覚を持って、自分達で着々と準備を進めているようです。サークルの運営から引退する私たちとしては、一年目のこの企画を一応の形として残すことができたこと、2年生が頼もしく成長してくれたことを嬉しく思っています。次回は今回の反省を活かしてより充実したものができると思っています。今後とも私たちの活動にご期待下さい。(寄稿/邦楽部部長 虎見康豊・資源3年)

## 学生相談室から

受付窓口 0298-53-2415  
電話相談 0298-53-2406

### 「困ったときの親頼み」

山口 直美(臨床心理学系)

子供さんが急に学期途中で帰省して、「もう駄目だ。大学をやめたい」といいました。理由を聞いても、自信をなくしていること以外にははっきりしません。そんなとき、親としてどうされますか？

1. ちょっと疲れたただだから、とにかくうちで休みなさいと慰める。
2. 原因究明のために、お子さんの話を聞く。
3. 試験や単位などの状況を聞き、現実的な対策を練る。
4. 大学なんかやめてもいいよと慰める。

## 男子バレーボール部 観戦バスツアー参加記(寄稿)

バレーボール、それはテレビの中だけしか見たことの無いスポーツだった。しかし、今回観戦バスツアーに参加したことによって、バレーボールの楽しさというのを肌で感じる事ができて、非常に有意義なものになった。さらに観戦バスツアーが開催されたこの日の試合は筑波大学にとって、秋季リーグ優勝の行方を分ける非常に重要な試合だったため、応援する側にとってもこれほど応援し甲斐のある試合は無かった。試合結果は法政大学にセットカウント3-1で勝利を収め、翌日には見事リーグ優勝を決めた。

つくばに住んでいるとなかなか筑波大学の部会の活躍を見るという機会は少ない。しかし、同じ筑波大生の勇姿を試合会場が遠いからといって見に行かないというのは寂しいと思う。今回のバスツアーは、筑波大生の活躍を自分の目で直に見る絶好の機会となった。日々練習を積んでいる選手が考えていることや気持ちが理解できるようになり、自分自身の役に立つものが見つけられたように感じた。また、バスツアーの運営や応援の指導に選手自身が積極的に関わっている姿を見ることができたのも今回の収穫だったと思う。私たち観客にとって、運営に関わ

これらの答えには一長一短があります。

1番は「ちょっと疲れただけ」と事態を軽く表現してしまい、お子様にわかってくれないと言う印象を持たせてしまうかもしれません。2番は、考え詰めて絶望しているお子さんを問いつめ、さらに自己嫌悪に陥らせる可能性があります。3番は、試験や留年に対する子供さんの不安を増大し、試験だけでも受けなければと追いつめる可能性があります。4番は、本当はやめたくないと言う気持ちがあると、言い出しにくくなって、相談しなくなるかもしれません。

では、もっともふさわしい対応は何でしょう。

ケース・バイ・ケースですと言ったら、な～んだと言われてしまいそうですが、実はそれが答えです。色々な答

る選手にとっても普段の学生生活では気付かなかった事を体感できるバスツアー、今回はそんなバスツアーを実感できたと思う。(寄稿/体育会企画局長 桑原康平・体育3年)

## 宿舎再入居受付・抽選迫る

平砂・追越・一ノ矢各学生宿舎の来年度再入居の募集・抽選が、11月から1月にかけて行われる。一人部屋については、12月5日～8日に申し込みを受け付け、同13日～15日にかけて抽選が行われる。くじ引きで番号くじを引いた人が入居候補者となり、部屋数が確定した段階で、番号の若い順から割り当てられていくという方針で抽選は行われる。部屋数が確定した1月15日に最終的な入居者が発表され、当選した人が学生宿舎の切符を手にする。一方抽選で外れた人は1月22日・23日に行われる二人部屋の抽選に応募するか、アパート探しを始めることになる。

先日アパート情報誌を手にしながらアパートを歩いて回っている人を見かけた。宿舎入居を希望しない人はもう新居を探し始めているようだ。だが、宿舎入居希望者は抽選の結果がわかるまでアパート探しはできない。条件のいいアパートは大抵先に埋まっているので、外れると結構大変である。くじ引きは緊張の一瞬なのかもしれない。(文責/文芸連広報局員 福井晶子・社工3年)

えを念頭に置きながら、ケース・バイ・ケースで対応をしてみ、その結果を見てください。そのとき、よく知らない別の人に対峙するような気持ちで、静かにしっかりと子供さんの様子も見てあげてください。これはなかなか難しいことです。子供のとき、初めて車のボンネットを開けてエンジンを見たときのように・・・たえが適切ではないかもしれませんが・・・もう一度新鮮な目線で話してあげてください。そして、原因究明というムードではなく、つくばの生活の様々な場面を話題にするのがいいかもしれません。

子供さんにとって親御さんは大きな存在です。是非、困ったときの頼みの綱になって下さい。

学生相談室ではカウンセリングの専門家が相談に応じています。

## 就職活動体験記

山下 真夫  
修士課程経営・政策科学研究科2年



私が就職活動を始めたのは12月下旬でした。某外資系企業からの説明会案内がきっかけです。業界にもよりますが、1月になると就職活動

が本格的に始動します。2月から4月にかけては一番忙しく、説明会や面接でほぼ毎日東京に出かけました。実際に筆記試験を受け面接した企業だけでも20社弱あります。結局5月に某電機系電器メーカーから内定をいただくことができ、就職活動を終えました。

自分は企業に依存してしまうのではなく、将来独立できる力を持った人間になりたいと考えているので、学群の時は工学システム学類で主にコンピュータを勉強し、大学院では経営・政策科学研究科で経済・経営・財務などを勉強してきました。そして、就職活動に際しては、経営や財務の知識を身につけられるか、幅広い分野の経験を積むことができるか、また海外に出るチャンスがあるか、などを重視して、コンサルティングファーム、シンクタンク、ベンチャーキャピタル、IT

関連企業などを中心に回りました。

内定をいただいた企業を選んだ理由は、グローバルに活動している企業であり、様々な事業を展開していること。また、時代の先端をいく経営体制を持っており、その企業の情報システムの仕事に携わるとは、自分の経験を生かせるとともに、いい勉強になると考えたことです。

面接では、成績よりも、大学時代をどう過ごしてきたかを見られていたと思います。どんなことに打ち込んだか、なぜそれを選び、どういうことを学んだかとよく聞かれました。それをもとに、なぜその企業に入りたいかを話すとスムーズに自分を表現することができたと思います。自分は管弦楽団で役員をやっていたので、その経験をもとに話をしましたが、大勢の団員に対しどのように働きかけたか、団をどのようにまとめたかを尋ねられました。特にコンサルティング系の企業ではそれが強みになっていた気がします。他にも、志望理由はもちろん、なぜ大学院に行ったのか、何を学んでいるのか、実際に入社したら何がしたいのか、などを聞かれました。

最後に、後輩の皆さんへのアドバイスを書きたいと思います。

筑波大学は東京から離れているので就職活動では、在京の大学より地理的に不利な状況にあります。私は、車・パソコン・携帯電話を持っており、これらをフルに活用しました。車を使っ

て、最寄り駅までの移動時間を節約し、携帯電話やノートパソコンを使って、企業との連絡、エントリー、説明会の予約などを迅速に行いました。就職活動は一種の情報戦と言われますが、早く情報を得られたことが差になって現れたと思います。道具をもっていけばすべて解決するわけではありませんが、地理的な条件を克服するには工夫が必要です。

また、就職活動にはかなりのお金がかかりました。交通費で約10万円、服装関係が7万前後、通信費などが5万円ぐらいでした。つくばから東京に一回出るのに交通費だけで3000円はかかります。一番忙しい時期はほぼ毎日東京に通ったので、交通費はかなりの金額になりました。

就職活動を通じ、多くの学外の人と知り合い、また企業を内側から見ることができたのは、自分にとって大きな経験になりました。このような機会には就職活動ですから、積極的に様々な企業を回ってみるべきです。また、在京の大学生の中には、インターシップやアルバイトなどで、企業の中で働いた経験がある人も多くいます。それに比べ、筑波大生は社会人と触れる機会が少ないので、OB・OG訪問も積極的に行い社会人との交流を持つことはとても勉強になります。就職活動は大変ですが、得るものも大きなものがあります。皆さんが納得できる就職活動を送れることを願っています。

### 就職関連行事のお知らせ

筑波大学では、下表の就職ガイダンス・教養講座、右表のOB・OG懇談会を予定しています。ぜひご子息・ご息女に参加をお勧めください。

お問い合わせ・教養講座の申込：学生部就職課(本部棟2階)

TEL. 0298-53-2254

### 就職ガイダンス・教養講座日程

名称	第4回教養講座	第5回教養講座	第14回就職ガイダンス
日時	2001年12月12日(水) 13時45分～	2001年12月19日(水) 13時45分～	2002年1月16日(水) 13時45分～
場所	第二学群2H101教室	第二学群2H101教室	第二学群2H101教室
内容	適正検査実践講座	模擬面接実践講座	講演「就職活動直前の心構え及び就職履歴について」
講師	学生援護会講師	ベネッセホールディングス(株)進研アド採用コンタクト 菊地信一氏	リポート就職ジャーナル編集長 冨塚 優氏
備考	要事前申込 受付：学生部就職課	要事前申込 受付：学生部就職課	

### OB・OG懇談会日程

日程	場所
2002年1月18日(金) 13:45～	大学会館ホール 同 特別会議室
2002年1月23日(水) 13:45～	大学会館ホール
2002年1月30日(水) 13:45～	大学会館ホール 同 特別会議室
2002年2月6日(水) 13:45～	大学会館ホール 同 特別会議室
2002年2月13日(水) 13:45～	大学会館ホール 同 特別会議室
2002年2月20日(水) 13:45～	大学会館ホール
2002年2月22日(金) 13:45～	大学会館ホール 同 特別会議室

## 年末特別企画 学生組織 議長・委員長座談会

筑波大学の学生組織のうち、サークル活動に関わる三系では12月に現執行部が任期を終えます。そこで、三系の委員長と全代会の議長とで2001年を振り返る座談会を開きました。

(11月10日、紫峰会天久保事務所にて)  
由良(司会)：今年の活動の中で特徴的だったことは何ですか。

田中(芸サ連)：最近芸サ連ではサークル同士のジョイントが目立ちます。例えば伝統文化系サークル合同企画「天上大風」<sup>1</sup>や、バンドの合同ライブです。

高石(文サ連)：ここ数年の文サ連は運営委員会<sup>2</sup>の活動が低迷していました。今年は運営委員会がしっかりして、運営委員会とサークル、サークルとサークルの距離を近づけるようにしました。全体で行ったことは春と秋のサークル対抗ソフトボール大会です。連合会でしかできないことがあることを知ってもらえるように努めました。

武田(体育会)：体育会では執行部の運営改革をしました。代表者会議<sup>3</sup>では、発言しやすいように、会場を替えて皆が向かい合わせになるようにする、成績報告をして拍手するなど雰囲気作りに気を付けました。またサークル代表者や顧問教官と連絡を密にとるなど、原点に立ち返った部分が多いです。

諏訪(全代会)：全代会では意見収集の筋道を明確化しました。会議も儀式的なものではなく、議論を詰める所へしようという意識がありました。その成果を活性化した会議に見ることができ

ます。現在の制度で全代会ができる限りのことをするのが第1段階なら、今は第2段階の制度的な拘束を破るところに来ていると思われます。

由良：サークルが合同で企画をしようと動いていることについて、組織の側としてはどう思いますか。

田中：サークル同士がつながりを持つことは良いことだと思います。私たちとしてはその意識をもっと外の方へ向けて、地域の皆さんにも楽しんでもらうようにしようという目標があります。

武田：自己満足で終わらず、広い視野で物事を見られるのが芸サ連の大きな利点ですね。サークルの代表者だけでは大きな視点に立ちにくいです。そこを組織が導いていけるでしょう。

由良：紫峰会の援助で有り難かったことや、更に期待することがあったら教えてください。

諏訪：緊急貸付金に助けられたという声を多く聞いています。課外活動だけではなく勉学の面で、成績優秀者への奨学金制度なども検討していただきたいと思います。

高石：会計面接<sup>4</sup>は、知識面でのサポートになってとても有り難いと思います。他にも課外活動資料室<sup>5</sup>での資料の保存やUT club<sup>6</sup>でのポスターの制作などは、サークルの人も喜んでいきます。UT lifeによる生活情報サービスなどもいいと思います。

武田：多額の経費がかかる体育会でも会計指導は貴重です。そして何よりも年間合計約1400万円の援助金は大きいですね。また紫峰会後援の応援バスツアー<sup>1</sup>もサークルにとって大きな励みになります。サークル

のためにも、より多くの応援企画を作りたいと考えています。また応援企画に学生だけでなく親も参加できるようになるといいですね。

田中：京都、東京、つくばで行われた管弦楽団第50回記念定期演奏会<sup>1</sup>の特別援助金では約60万円をいただきましたが、こういった経済的なサポートはとても大きいです。「天上大風」では紫峰会職員の方のアドバイスで地元メディアを使った広報活動を行うことで、多くの地域の方々が来場しました。このように紫峰会の「学生と親や地域を結びつける場」としての意義が大きいと感じています。

高石：会報にも、もっと一般の学生が写った写真が載るようになるといいですね。

武田：学園祭風景の写真などにも、やはり偶然でも自分の子どもが載っていると嬉しいものですからね。

高石：親子の会話もはずむでしょうね。武田：紫峰会を通じて、子どもは親を、親は子どもをもっと身近に感じられるようになると思います。

編集部：有り難うございました。今後の会報作りの参考にしたいと思います。

(文責/文サ連広報局長 由良紀子・人間学類2年)

注)

1 本号Campus Newsの頁参照

2 文サ連の執行部。

3 体育会で開かれる会議。

4 年一度、各サークルの新旧の会計と責任者を集めて紫峰会事務所で行われる。サークルごとに会計状況について話し合い、知識を教授される。

5 学生有志が組織する世話会を中心に課外活動に関する資料収集・保存を行っている。

6 サークルのロゴや筑波大学の校章を取り入れたグッズを企画・製作している。



後列左から諏訪、武田 前列左から高石、田中

### 出席者

体育会執行委員長 武田拓之  
蹴球部 体育専門学群4年  
青森県立弘前高等学校出身。そのリーダーシップと強い存在感とで三系の中でも中心的な存在。

文化系サークル連合会運営委員長 高石友博  
現代視覚文化研究会 情報学類2年  
地元の茨城県取手市在住、茨城県立土浦第一高校出身。見た目は細いが芯は太く、自ら様々な企画を打ち立てる活動派。

芸術系サークル連合会運営委員長 田中美記子  
筑波音楽協会 社会学類3年  
栃木県立宇都宮女子高校出身。学生組織の紅一点。いつも和やかだが、言うことはしっかりしている堅実タイプ。

全学学類・専門学群代表者会議議長 諏訪庸和 社会学類3年  
栃木県立宇都宮高校出身。親しみやすい笑顔と理論的な思考力の持ち主。その包容力が議長となった所以と思われる。

## Circle Headline

### 陸上競技部 インカレ アベック優勝達成!!(体育会)

9月28から30日に行われた全日本インカレにおいて、チームの念願であった男女総合優勝を達成することが出来ました。これは30数年ぶりの快挙ということで、改めて喜びをかみしめると共に、多くの関係者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、今回優勝したことによって、様々なプレッシャーがかかってくるとは思いますが、史上初の連覇に向かって今まで以上にチーム一丸となり、努力していかねばならないと、気を引き締め直しています。

自分も含め4年生は、大学最後の年にこのような偉業を達成し、卒業できることに対して非常に満足していますが、今後は後輩達のために何かを残せるように最後まで努力したいと思います。(寄稿/陸上競技部主将 山田真利・体育4年)

### 日本学生陸上競技対抗選手権大会 本学陸上部優勝者一覧

男子800m

柴田賢二 記録 1分49秒36

男子1500m

柴田賢二 記録 3分46秒10

男子走高跳

外堀宏幸 記録 2m18

男子棒高跳

木越清信 記録 5m30

女子200m

遠藤絵美 記録 24秒75

女子400m

湯野真由美 記録 55秒49

女子5000m競歩

小西祥子 記録 22分59秒64

女子十種競技

菊川恵子 記録 5497(大会新)

より詳しくは

紫峰会ホームページへどうぞ!

体育会サークルの試合結果や文サ連・芸サ連サークルの公演などイベント情報を網羅!!紫峰会報では伝えきれない情報を満載しています。どうぞご覧下さい。

URL <http://www.shihoukai.gr.jp/>

### 応援団桐葉演舞会 第十一回桐葉ノ舞(芸サ連)

11月3日、ノバホールに太鼓の轟音が鳴り響き、割れんばかりの拍手と歓声があふき起こる中、ステージ上には応援団桐葉新大団旗がそびえ立つ。筑波大学応援団桐葉第十一回桐葉ノ舞の開演である。普段は選手達を応援する、いわば脇役である私達が年に一度だけ主役となり、今までの応援団桐葉で培ってきた技術・心を観客に「魅せる」ことができる場である。



年に一度の晴れ舞台に立つ

我々応援団桐葉の団員は母校の勝利を目指し、戦っている選手達と心を共にし、自分たちの限界に挑んでいる。しかし、まわりで試合を見ている人や応援している人をないがしろにする応援は全く意味をなさない。内輪だけで盛り上がるのは本当の応援団とは言えない。この桐葉ノ舞にしても同じ事が言える。桐葉ノ舞は我々だけが目立って、楽しむものではない。ご来場された方々、今年一年間お世話になった方々に感動を与え、我々の気持ちを共有してもらうことが目標である。一人でも多くの方がこのステージを見て、感動したり、元気付けられて頂ければこれ以上の喜びはない。応援席に足を運びたいと思ってくれる人が増えればいいことはない。そんなステージを目指し我々は努力してきたのである。

「応援団」というと、とかく「恐い」「厳しい」等のイメージが先行しがちである。しかしそれは「応援団桐葉」の本質ではない。「学内活性化」「母校意識の高揚」「筑波大学の宣揚」の三つを団目標に掲げ、我々の明るさ・元気の良さと周囲を活気づけることこそ「応援団桐葉」の本質なのである。我々はムードメーカー、エンターテイナーという言葉が一番似合う団体を目指し、日々精進するのである。(寄稿/応援団桐葉 佐々木通年・社工2年)

### サークル紹介 児童文学研究会(文サ連)

私たちのサークル「児童文学研究会」は、一般に「児童文学」と呼ばれる分野の文学作品・絵本を好む会員達によって構成されています。と言っても、各会員の好みは、外国の古典作品、日本の現代作品等多種多様で、児童文学以外の文学に対する興味も多岐にわたります。現在(2001年11月)の会員は、15人と比較的少人数ですが、それだけに和やかな雰囲気を持ち、会員同士の仲も良いのが特長です。

主な活動内容は、文学作品の創作・絵本の制作・カレンダーの制作(現在は12月中旬に制作)など、創作活動が中心となっています。小説・詩などの作品は、年3回発行される冊子『ほうきぼし』に掲載されます。これらの作品は、学園祭に展示企画として出品され、一般のお客様からも多くの評価を頂いております。学園祭では、展示企画のほかに、「鈴屋」という名の駄菓子屋を出店しており、こちら、懐かしい雰囲気が良いとの定評を頂いております。

創作以外の活動では、年に数回、図書館情報大学の児童文学研究会と「合同読書会」が行われています。これは、1つの文学作品をテーマに、感想や批評を語り合うというもので、さまざまな意見を聞けるほか、今まで読んだことなかった作品に触れるという意味でも、貴重な機会となっています。その他、春と秋に新入生歓迎行事として行われる「お茶会」も、会員間の交流の場として楽しめる行事の一つです。数年前に始まった活動も多く、まだ試行錯誤中の部分もありますが、ここが今後も、会員達が創作することを楽しみ、温かみを感じることでできる場所であればと願っています。(寄稿/児童文学研究会 須田教子・生物2年)



雙峰祭での展示の様子

## サークルスケジュール一覧

### 体育会

合気道部 師範稽古12/1 師範稽古12/5 全国学生合気道演武大会12/8 師範稽古12/15 師範稽古12/22 師範稽古1/12 師範稽古1/19 師範稽古1/26 アイスホッケー部 茨城県アイスホッケー連盟主催リーグ戦1/19~1/20 合宿1/26~1/27 鹿島神流武道部 集中練習12/15 寒稽古12/1 少林寺拳法部 茨城県大会12/2 体操部 つくば体操フェスティバル1/26 ダンス部 関東学生舞踊連盟発表会12/1 全国教育大学協会保健体育・保健研究部門、全国創作舞踊研究発表会12/23~12/24 茨城県女子体育連盟主催第43回学校ダンス発表会1/20 女子バスケットボール部 秋季Jr.大会12/3 全日本学生バスケットボール選手権大会11/25~12/2 男子バレーボール部 全日本学生選手権大会12/3~12/9 男子ハンドボール部 茨城県一般ハンドボールリーグ12/2 女子ハンドボール部 全日本総合ハンドボール選手権大会12/24~12/28 冬季合宿1/10 ライフル射撃部 納会12/15 ラグビー部 全国大学選手権大会12/15 陸上ホッケー部 OB・OG会12/8~12/9 オリエンテーリング愛好会 関東大学オリエンテーリング愛好会12/2 筑波大学・東京大学対抗戦12/9 いばらきオリエンテーリング大会12/16 静岡大学オリエンテーリング大会1/6 剣道同好会 交代部内戦12/15 忘年会12/22 寒稽古1/29~1/31 艇友会 榊原杯遠漕レース12/16 バドミントン同好会 UBFダブルス決勝大会12/1 松井杯・納会12/15 UBFミックス大会12/16~12/23 交流試合1/26vs医学バドミントン部 女子アイスホッケークラブ 大学女子アイスホッケー選手権大会12/6~12/9 関東予選Bブロック1/12~1/13

### 文サ連

E.S.S ドラマセクション卒業公演2/19 SF研究会アルピレオ クリスマス会12/15 コミックマーケット61 12/30 歌留多部 仙台大会12/2 九州職域大会12/9

新春かるた会1月上旬 春合宿3月上旬 職域学生大会3/24 現代視覚文化研究会 コミックマーケット61 12/29・30 茶道部和敬清寂社 初釜1/11 児童文学研究会 12月読書会 クリスマス会12/23 新年会1/11 手話サークル 手話教室12/1 クリスマス交流会12/8 クリスマスパティー12月中旬 交流会2月中旬 春合宿3月中旬 将棋部 1,2年対抗戦12月 冬合宿 春合宿 鉄道研究会 冬旅行(羽越方面)1/5,6 追い出しミステリーツアー3月下旬 芸サ連

アカペラサークルDoo-Wop Doo-wopクリスマスアカペラコンサート12月中旬(つくばカピオ)開場18:00開演18:30 Doo-wopアカペラパーティ12月中旬(学内の予定)開場18:00開演18:30 E.L.L 図情大合同ライブ12/8・9(図情大食堂)時間未定 無料 E.L.Lクリスマスコンサート12/23(三学談話室予定)無料 劇団竹蜻蛉 第130回公演「カラス恋」1/26・27(追越共用棟娯楽室)無料 津軽三味線倶楽部無絃塾 第5回卒業公演3/21(土浦市民会館大ホール)昼 開場11:00開演11:30 夜 開場16:30開演17:00 一般席2,000円(学生1,500円)2階席1,500円(学生1,000円) 筑波能・狂言研究会 2001年度卒業公演3/19(つくばカピオ)開場15:00開演15:30 無料 人形劇団NEU クリスマス会の依頼講演12/21(上広岡保育園)無料 吹奏楽団 訪問演奏12/1(大岩田幼稚園) アンサンブルコンサート2/3(つくば国際会議場ホール)無料 Jazz愛好会 クリスマスコンサート12/22(フォレットの予定)開場13:00開演13:30 予定 入場料500円予定 ピアノ愛好会 クリスマスコンサート12/19(大学会館ホール)開場16:00開演16:30 無料 HAPPY! NEW Year Concert 1/15(大学会館ホール)開場16:00開演16:30 無料 卒業コンサート2/21(大学会館ホール)開場16:00開演16:30 無料 焼き物を作る会 クリスマス展示12/17~21(大学会館別館)9:00~17:00 無料

また芸サ連企画のクリスマスコンサートにも多数参加しています。下欄を御覧下さい。

### コンサートのお誘い

## The 2001 Christmas Concert "Artful Christmas"

12/12(水)~12/14(金) 開場17:30 開演18:00 入場無料

場所 筑波大学大学会館ホール

主催 筑波大学大学会館 企画・運営 筑波大学芸術系サークル連合会

### 出演団体

12日(水)

ピアノ愛好会 ブロックフレーテ同好会

合唱団むくどり

ジョイント: JAZZ愛好会+吹奏楽団

幕間 応援団桐葉

13日(木)

フォルクローレ愛好会 津軽三味線倶楽部無絃塾

ジョイント: 邦楽部+フォーク村

幕間 混声合唱団

14日(金)

ギター・マンドリン部 E.L.L

ジョイント: YANA Show-ji+筑波音楽協会

幕間 応援団桐葉

全日通して写真部のギャラリー展示があります。

芸術系サークル連合会企画・運営な

らではの様々な音楽が楽しめるコンサ

ートです。ちょっと早いけど、クリスマ

スの雰囲気を楽しんでみませんか。



「タイトルのイニシャルがSFになること。」をルールにし

て、他の美術大学と共に東京で作品展を開催します。私達、芸術専門学群生なりの世界をお楽しみください。

会場 キャロットタワー4階 入場無料  
交通 渋谷より東急田園都市線

三軒茶屋駅下車、徒歩2分

会場のお問い合わせ

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂4-1-1

TEL 03-5432-1500

詳細は紫峰会ホームページに掲載しています。

文サ連広報局長

由良 紀子  
(華道クラブ 人間2年)

経験皆無の取材に悩み、締め切りに追われ、時には食生活特集に笑いながら気がついたら1年が過ぎてしまいました。約1年前は所信表明として、会員の皆さんと学生との窓口になりたい、というようなことを書きましたが、それは実現できたでしょうか？任期終了の後には前のように読者の立場に戻り、私たちの後継となる新スタッフたちの活躍を見守りたいと思います。最後になります。最後まで、そしてこれからも私たちを支援してください。会員の皆様、本当に有り難うございます。

文サ連広報局員

福井 晶子  
(映画研究部 社工3年)

文章を書くことが苦手な私に、果たしてこの仕事が務まるのか初めはとても不安でした。特に会報のような公的な紙面に文章を書いたことはなかったので、一つの原稿を書くのに随分と時間がかかっていたような気がします。しかし原稿が仕上がって、会報を手にしたときの達成感是非常に気分のいいものでした。

紫峰会での経験が今後役に立てばいいなと思います。拙い文章でしたが、1年間おつきあい頂きありがとうございました。

Editors' 2001

一年間頑張って、会員の皆様に色々な情報を提供してきた彼らも今号で引退です。最後の一人一言を聞いてください。



後列左より 由良、三瓶、佐々木  
前列左より 福井、伊藤

体育会広報局長

三瓶 栄美  
(アメリカンフットボール部 人間3年)

早いもので紫峰会報の編集に携わって1年になりました。学校と部活と体育会広報局長としての仕事で、追われっぱなしの1年でした。本来、3つのわらじをはくのは私の能力には収まらないと思いますが、1年間やり遂げることができたのは周りの人たちが支えてくれたからだ実感しています。特に、紫峰会の職員の方には編集作業の範囲を超えてたくさんの相談をさせていただきました。1つの作業を通して少なくとも10の教訓は与えていただいたように思います。この経験を今後、多方面に生かしていきたいと思ひます。

芸サ連広報局長

佐々木 通年  
(応援団桐葉 社工2年)

一年間編集をやったこと

- ・あつという間だった
- ・文章を書くのは難しい
- ・こういう冊子を作るのは大変
- ・文書が上手くなった
- ・でも他の人に比べ見劣りする
- ・拙い文章でごめんなさい
- ・新しい漢字を少し覚えた
- ・カメラも少し使えるようになった
- ・仕事の進め方を教わった
- ・とても勉強になった

ここには書ききれないほど人生においてプラスとなることが沢山ありました。一年間ありがとうございました。

芸サ連広報局員

伊藤 仁士  
(人形劇団NEU 人文2年)

早いもので僕が紫峰会報のお手伝いをさせてもらって一年、会報に最初に書いた挨拶文に「とにかく頑張る」と書いてから、精一杯頑張ったせいか、全然頑張らなかつたせいか、この一年はとても早く感じられました。編集会議に参加したり、色々な取材をさせてもらったことは僕自身にとって大きな経験となり、この仕事をさせてもらって本当に良かったと思っています。最後に、僕のつたない文章につきあって下さった会員の皆様、一年間本当にありがとうございました。

平成13年度紫峰会協賛会員(平成13年11月20日現在)

茨城リコー株式会社	富士アウトソーシング株式会社
エスアイアイ販売株式会社	ホテルスワ
オルガノ株式会社	ホテル松島
株式会社アジア住販	三井住友海上火災保険株式会社
株式会社システムポート筑波	有限会社アテック
株式会社ジャスティー	有限会社グッドライフ
株式会社筑波学園自動車学校	有限会社柿本ハウジング
株式会社リクルートスタッフィング	有限会社ネクスト
黒田印刷株式会社	有限会社むうじゅ
つくば国際アカデミー	ラグーン
東海建設株式会社	《特別会員》
日本流通企画株式会社	財団法人筑波学都資金財団

今後の予定(学年暦より)

12/26-1/7	冬季休業	3/8-	春季休業
2/22	英語・独語検定試験	3/22	医療技術短大卒業式
3/1-7	第三学期末試験	3/25	学群卒業式
			大学院学位授与式

芸術専門学群卒業制作展及び芸術学研究科修了展のお知らせ

筑波大学で芸術を学び、磨き抜かれた作品の数々をご覧いただける、平成13年度卒業制作展/修了展が下記にて開催されます。是非お越しください。

場所 つくば美術館  
(つくばセンターバス停より徒歩5分)

日程

2/13(水)~17(日) [美術専攻]  
洋画・日本画・書・彫塑  
窯芸・版画・総合造形

2/19(火)~24(日) [構成・デザイン専攻]  
視覚伝達デザイン・生産デザイン  
環境デザイン・建築デザイン

2/26(火)~3/3(日) [修了展]  
2/23(土)には併設のアルスホールにて芸術学専攻の発表会が行われます。